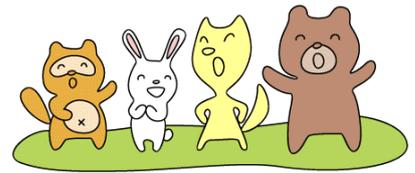


子育て支援隊ニュース

～笑顔あふれる子どもが見たい～



射水市では、市民みんなで子どもの健やかな成長を支援していくために、子育て支援隊を結成しています。あなたの力を子育て支援に生かしてみませんか？

子育て支援隊とは？

子育てに関する豊富な知識や子どもの創造性を培う趣味、特技を持つ個人、団体を子育て支援隊として登録し、保育園や幼稚園、小学校などの子どもに関する施設や子育てサークルなどで、子どもたちとのふれあいを通じてその成長に寄与するものです。市は、施設・団体からの依頼に応じて子育て支援隊を紹介します。

支援隊にはこんな方(団体)が登録されています。

- ・子どもの創造性を培う趣味、特技のある方（絵本の読み聞かせ、歌、おどり、折り紙、工作など）
- ・子育てに関する知識が豊富な方（育児の豆知識や離乳食や幼児食のレシピなど）



どんなふうに活動しているの？

ここでは、いくつかの団体・個人の方の活動を紹介します。

射水市ホームページでも紹介しています。（各課のページで、「子育て支援課児童福祉係」へお進みください。）

団体名 「射水おはなしの会」

代表者名 嶋倉 秋子

会員数 10名

活動内容 ストーリーテリング

令和元年度
子育て支援
とやま賞受賞！

おはなしを届ける、それが射水おはなしの会の活動です。私たちは、日本や世界の昔話・創作童話を覚え、定期的に保育園・幼稚園・小学校・図書館などで子ども達に語っています。

「おはなし」は、絵本の読み聞かせや紙芝居と違って、聞き手は語り手のおはなしを耳で聞くだけです。語り手と聞き手の間にあるのは、一人一人の想像の世界を自由に広げることのできる空間です。そして、子ども達とその世界を共有できた時の喜びは何物にも代えがたく、私たちの地道な活動の原動力となっています。



団体名 「一五クラブ」

代表者名 関澤 美保子

会員数 9名

活動内容 絵本の読み聞かせ

新湊小学校で読み聞かせを始めて21年目になります。会員も年数を重ねて、少し滑舌も悪くなりつつあります。子ども達(自分の為でもある)が少しでも聞きやすくなるように、講師の先生の力をお借りして濁音、鼻濁音、そして早口言葉の発声練習もしました。

朝の貴重な15分間を1冊の本を通じて、子ども達へ、そして子ども達から笑顔とパワーをたくさんいただいて一日がスタートする。それが楽しみで続けています。



団体名 「かいばみ文庫」

代表者名 貝喰 治子

会員数 65名

活動内容 おはなし・絵本の読み聞かせ
わらべ唄など

私が文庫を始めた原点は、本が好きだということ、そして「本は生きる力」になることを伝えたいという思いなんです。

とくに、絵本は、親子で一緒に読むことで、同じ世界を旅して、言葉やイメージを共有できる貴重なものだと思っています。子どもの頃に親と言葉やイメージを共有した経験があれば、成長してからも他人を理解することにつながり、他人と関係を築くときにも生きてくると思うのです。

思いのかけられることをしたいと60代後半で始めた文庫も14年目になります。年齢の問題も自覚するようになりました。本が好き、お話が好き、子どもが好き、本と人とか出会える場として文庫を続けていけたらなと思っています。

昨年、福音館書店より原稿依頼のお電話をいただいて、月刊誌「こどものとも（012・年少版・年中向き）」2020年2月号の折込付録「文庫の時間ですよ」の特集に文庫のことを書かせていただきました。赤羽末吉さんの『おへそがえる・ごん』を取り上げました。子ども達からいろんなことを教えられた絵本でした。



さあ、あなたも子育て支援隊に登録して活動してみませんか？
子どもたちがあなたの力を待っています。



団体名 「なでしこの会」

(堀岡更生保護女性会)

代表者名 浜 美千代

会員数 20名

活動内容 子ども達とのふれあい

毎年、年間25回程、小学校の1～3年生を対象に朝学習の15分間をいただき絵本の読み聞かせを、保育園では大型絵本の読み聞かせをしています。

今年度、初めて海老江子育て支援センターで「はらぺこあおむし」の絵本からペープサートを作った作品を見ていただく機会を得ました。園児達に声をかけながら動かすと楽しそうに体を動かし表現してくれました。又、お母さん達との触れ合いもでき、有意義な日でした。



施設・団体の方へ

『支援隊の方に協力してほしいんだけど、連絡先がわからない・・・』
そんなときは、市役所子育て支援課児童福祉係
(☎51-6629) までご連絡ください。

